

広報



2004  
平成16年  
10月号

# きょうたんこ

vol.7



でっか〜い  
おも〜い!!!

〜パンプキンフェスティバル〜

- 主な内容
- ◆第16回「星空の街・あおぞらの街」全国大会
  - ◆タウンミーティング イン 京丹後
  - ◆第50回「丹後総合体育大会」

緊張していた子どもたちの表情も、やさしい問いかけで、すぐに笑顔に



八月二十一日、「星空の街・あおぞらの街全国大会」を前に、高円宮妃久子殿下が、この春に竣工した大宮南保育所（大宮町口大野）をご視察されました。子どもたちの出迎えに「おいくつですか」とやさしく問いかけられると、緊張していた子どもたちの表情もすぐに笑顔に戻りました。各クラスの様子や、ホールでの踊りの披露をご覧になられた後、記念にタムシバの木を植樹。「大きく育つてね」と子どもたちと

### 高円宮妃久子殿下お成り

全国大会の開催を記念して、子どもたちの代表、中山市長とともに植樹



もに声をかけられました。

大会終了後には、「琴引浜鳴き砂文化館」（網野町掛津）をご視察になり、恵まれた自然あふれる「京丹後」、美しい自然を守り、共生する「京丹後」の姿をご覧いただきました。また、翌日には、殿下のお声がかりにより、日本海側最大の前方後円墳「銚子山古墳」とともに、浦島伝説にちなむ「しわ榎」をご視察にられました。

## 「ひと、みず、みどり」環境写真コンテスト

大会の開催を記念して募集した「『ひと、みず、みどり』環境写真コンテスト」には、魅力あふれる京丹後市の自然環境を映し出した、98点の作品をお寄せいただきました。各部門で入賞されたみなさんの作品をご紹介します。

#### 「みどり」部門



「霧に包まれて」  
坪倉義英さん（弥栄町鳥取）  
（撮影場所 大宮町五十河）

#### 「みず」部門



「霧降りの滝」  
岸村守さん（峰山町杉谷）  
（撮影場所 網野町新庄）

#### 「ひと」部門



「子どもたちの遊び」  
森則子さん（峰山町御旅）  
（撮影場所 峰山町御旅）



「清流に咲くワサビ群」  
室田正行さん（弥栄町和田野）  
（撮影場所 弥栄町味土野）



「夜光虫」  
中江弘直さん（丹後町間人）  
（撮影場所 丹後町間人）



「菖蒲田植え祭り」  
飯住泰弘さん（京都市西京区）  
（撮影場所 久美浜町市野々）

# 光る風にいだかれて 第16回 星空の街・あおぞらの街 全国大会

### 大会テーマ 「光る風にいだかれて」

人類にとってかけがえのない清らかな大気（風）、きらめく星空（光）、そんな当たり前ものを当たり前として次世代へ守り継ぐために何ができるだろう。今ひととき、「光る風」にいだかれてほんの少しでも考えてみよう



大気環境の保全と郷土の環境を活かした地域おこしを目的に、「第十六回 星空の街・あおぞらの街全国大会」を八月二十一日、京都府丹後文化会館を会場に、高円宮妃久子殿下をお迎えし、盛大に開催しました。

同大会は、昭和六十三年に北九州市で開かれた「星空の街・あおぞらの街サミット」において採択された「空を活かし、空を楽しむ宣言」の趣旨から、大気環境の保全意識の高揚と、郷土の環境を活かした地域づくりの推進を目的に、環境省と都道府県、また平成元年に結成された「星空の街・あおぞらの街」連絡協議会（現在三百四十七の自治体が加盟）の主催により、毎年行っています。

聴き手に感動を与える和太鼓集団「飛龍天衆」の勇壮な演奏で幕を開けた式典は、谷垣禎一財務大臣をはじめ、地元選出の参議院議員、京都府議会議員、近隣市町長など多くの来賓を迎え華やかに開催。主催者を代表し、小池百合子環境大臣が「身近な星空やあおぞらの保全に関心を持ち、私たち一人ひとりが環境に配慮して行動することで、社会全体の大きな変革『環境革命』につながります」と式辞。また、「星空の街・あおぞらの街」全国協議会長の中山市長が「清らかな空気ときらめく星空に満ちあふれた京丹後市で本大会が開催されますことを、大変誇らしく感じるとともに、自然環境と調和し、これを活かした里づくり、まちづくりのありようは、今後二十世紀の日本の発展の方向の大きな一つの軸となると確信しています」と歓迎のあいさつを述べました。続いて、大気保全の啓発や普及で優れた活動をされている方々に表彰状を授与。

来賓の高円宮妃久子殿下から「環境問題は、地球全体の規模で、人類が避けて通れない課題となりました。清らかな大気、きらめく星空を子孫に引き継いでいくためにも、私たち自身できることから始めるのが、何よりも大切であると思います」とおことばを賜りました。

その後、丹後町の棚田や弥栄町の野間川、網野町の琴引浜などをめぐった、「光る風の探検隊」のビデオ放映を行うとともに、隊員が探検の思い出や環境について実践していることを報告。

「環境資源を活かしたまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションでは、淑徳大学の北野大教授をコーディネーターに、環境省の小林光環境管理局長と中山市長、丹後エコネットワークの宮本三恵子さん、久美浜町・如意寺住職の友松祐也さんが意見交換を行いました。

また、北野大教授が「星空の街・あおぞらの街をつくる」環境資源を活かしたまちづくり」と題して記念講演。「環境問題は、自分たちが汚染源であり、被害者でもあります。自分たちの問題であるという、危機意識をもつと持たなくてはならない」と一人ひとりが行動し、継続する力の重要性を話されました。

# 丹後地域の産業の

# 発展 活性化

# を目指し

# 丹後地域産業活性化推進会議

# 新たに始動



丹後地域の産業の活性化を目指す「丹後地域産業活性化推進会議」の平成十六年度総会を、九月二日に久美浜庁舎で開き、京丹後市誕生の年、決意を新たにしました。

同会議は、平成三年度に丹後機械工業協同組合が行った丹後地域産業活性化のための調査事業をきっかけとして、丹後地域の旧六町と商工会、産業団体などにより平成六年六月に「丹後地域産業活性化懇話会」として発足。これまでから、産業振興に関する講演会の開催や、「U」・「J」・「I」・「T」を促進する情報の発信、インターネットビジネスや新産業創出についての調査・研究などを推進してきました。



平成十五年度の事業や決算の承認、役員選出を行い、本年度は、特区（構造改革特別区域）やコミュニティビジネスの調査・研究を行う「地域開発部会」、首都圏や大都市、近隣市町村などの産業交流・情報交換を行う「地域産業交流部会」や「新産業創出部会」、「情報化部会」を設け、事業を推進していくなど、新市発足とともに新たな飛躍を誓いました。

総会終了後には、京都工芸繊維大学の川北眞史教授が「地域づくりとしての産業活性化」と題して講演。地方経済の現状を各種のデータを元に解説するとともに、産官学の連携の重要性や、地域資源を活用した地域ブランドの形成と発信、さまざまな分野でのネットワークの充実により、新たな産業を構築することの必要性など、地域・産業の活性化へのヒントを熱く話されました。

より一層の市民参画を得る中で、新しい時代に対応した柔軟で効率的な行政運営の実現を目指して、全市をあげて取り組む「行政改革推進本部」の第一回会議を、九月六日に市役所会議室で開催し、行政改革の骨子を示す大綱の策定スケジュールなどについて検討しました。



# 風人祭

# 環境について 楽しく学ぶ



▼「星空の街・あおぞらの街全国大会」でもオープニングを飾った「飛龍天衆」



「星空の街・あおぞらの街全国大会」の開催にあわせて八月二十一日・二十二日の二日間、丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）で、環境をテーマとした「風人祭（ふうじんさい）」を開催し、親子連れなど多くの人でにぎわいました。

「風人祭」は、環境意識の高揚を図るとともに、環境保全や新エネルギー・省エネルギーの取り組みや重要性に対して関心を高めてもらうことを目的に開催。豊かな海や山の特産物を売る「フードフェスタ」のほかに、「ワークショップ」では、環境啓発に関するパネルディスカッションが

会場中央のステージでは、「全国大会」のオープニングを飾った、和太鼓集団「飛龍天衆」の迫力ある演奏や、「ちりめん丹後夢美人」の町商工会女性部のみなさんが躍動感あふれるよさこい踊りを披露。

来場者は、楽しみながら自然の大切さを再認識しました。

間伐材を使つての「木工教室」

自転車での発電体験

息のあった「よさこい踊り」を披露

# 京都エコエネルギーフォーラムin京丹後

新エネルギーへの関心を高めてもらおうと、丹後あじわいの郷内の情報交流センターで8月22日、「京都エコエネルギーフォーラムin京丹後」を開催。

「環境共生のまちづくりと新エネルギーの可能性」をテーマに、環境ジャーナリストの枝廣淳子さんが「いま、地球のためにできること」と題して基調講演。各国のエネルギー政策を紹介し、「『ゼロよりはマシ』一人ひとりが何かに取り組むことが大切」とあり、限りある資源の大切さを話されました。



パネルディスカッションでは、中山市長が京丹後市が進める「自然と調和するまちづくり」について話すなど、環境を大切にしたい全国各地での取り組みが紹介されました。

# 星空観望会

21日の夜には、峰山高等学校の小長谷誠教諭を講師に「星空観望会」を開催。

雲が多くあいにくの天気でしたが、雲の間から見え隠れする「夏の大三角形」や、太陽を卓球玉の大きさに例えて宇宙の広大さをわかりやすく解説。また、空気について「星がきらきらと輝くのは空気があるからで、紫外線などの有害な物質の進入も防いでいるとても大切なものです」と星と環境について説明され、



来場者は心地よい夏の夜風に吹かれながら、ロマンあふれる星に想いを寄せました。

# 行政運営から行政経営へ 更なる市民起点・市民参画・市民協働へ

# 行政改革推進本部

同会議は、中山市長を本部長に、理事者と全部局長二十三人で構成。この日示された行政改革大綱策定のための検討資料では、「市民本位の開かれた行政運営の推進」、「より質の高い行政サービスの提供」、「効率的で生産性の高い行政運営の推進」を基本テーマとして、行政評価制度の導入や、組織・機構のあり方、市民と行政の協働に向けた環境づくりなど、十の具体的検討項目を設け、さまざまな角度から調査・検討を行い、行政改革に取り組んでいくこととしていきます。

# 観光立市を目指して タウンミーティング 京丹後 開催

内閣府大臣官房と京丹後市の共催により、「タウンミーティング 京丹後」を9月11日に、京都府丹後文化会館で盛大に開催しました。

「タウンミーティング」は、内閣の大臣などが広く国民のみなさんから意見を聞き、また直接語りかけることで、内閣と国民との対話を促進することをねらいに開催。

この「小泉内閣の国民対話」は、平成13年6月から全国各地で開かれ、平成15年12月には開催回数を通算100回を超え、4万9千人以上のかたが参加されています。

今回は、国土交通大臣で観光立国担当大臣の石原伸晃（のびてる）さんと、観光立国懇談会委員でデザイナーまたプロデューサーの山本寛斎（かんさい）さんが「観光立市を目指して」をテーマに登壇。魅力あふれる京丹後について、会場からの質問や要望に答えるなど、来場者と意見を交わすとともに、さまざまな可能性を秘めた京丹後市に熱いエールが贈られました。その概略をご紹介します。



「ちりめんのまち」ということは、知っていました。近隣を含めてこんなにきれいな観光地があることにびっくりしました。中山市長さんは、私とともに規制改革をやっていた仲間です。京丹後市は、ちりめんだけなく、観光もすごいんです。しかし、どのように広域連合していくのか、そこがポイントです」と聞かされ、これは日本の中でもモデルケースとなると、今回は訪ねさせていただきました。京丹後市は、見ているだけで満足できる風光明媚な自然がたくさんあると思います。全国でも少なくなっています。しかし、「鳴き砂」も有名ですし、やはり、日本海という「かに」ですね。また、さきほど町長さんや市長さんとお話をし、おもしろいと思ったのは、丹後七姫とか浦島太



**石原 伸晃さん**  
平成2年 衆議院議員に初当選  
平成8年 通商産業政務次官  
平成13年 行政改革・規制改革担当大臣  
平成15年 国土交通大臣

郎、羽衣伝説などのさまざまな伝説があり、京丹後市は、このような歴史的な地域だと思いました。そういう地域が連帯して、丹後の地域をみがいていくことは、非常に夢があり、また可能性のある取り組みだと強く感じました。しかし、それを結ぶためには、インフラ（インフラストラクチャー・道路や鉄道などの生活基盤を形成する構造物）の整備が重要です。現在は、京都縦貫自動車道、近畿自動車道の敦賀線と高速道の整備を徐々にはありますが、丹後地域の観光入込客数の推移をみると、高速道路の部分開通に合わせて増えています。しかし、乗った降りたりです。これがつながって初めて、さらに効果が出てくるのではないかと、実際に来てみて強く実感しま

した。観光施設などのソフト、あるいは道路などのハードを組み合わせ、広域的な取り組みがますます重要になりますし、それによって、さらなる観光客の増加と市の発展があると思います。国土交通省では、昨年から「観光交流空間づくりモデル事業」を実施し、ハード・ソフトの両面から地域の取り組みを支援しています。今年、こちらからもご要望がでていくことですが、京丹後市が近隣の市町と広域的な連携をつくっていくこととされることに、国土交通省としてもさまざまな施策の面でバックアップをいたします。みなさんのチャレンジを期待しています。国の予算をどんどん使ひ、観光客を集めることが、ほんとうに国の政策なのかと考えますが、宣伝しなくては、人は来てくれない。いい商品を出さないと、違うところにお客さんを取られてしまいます。そういう意味で、民間と行政が一緒になって発案をするというところは、観光という特殊なものを、産業としてとらえたときに切り口として、意味があると思います。また、観光には、体に障害をお持ちのかた、また外国か

らお越しのかたに対しても、さまざまな課題があると思います。言葉のバリアフリーも大切なことだと思います。国土交通省では、来年モデル的に二十一世紀のバリアフリーとして新しい取り組みを行います。それは、ICチップを道路や建物に埋め込み、携帯電話や端末を利用して、自国の言語でここはどこであるかなどを、説明できるものを開発しています。また、目の見えないかたでも美術館で、どのような絵がかかっているかを耳で聞けるようにするものがあります。

本日は、みなさまのご要望にできる限り応える形で行政を進めていかなければならぬと改めて強く感じました。それと印象に残ったのは、「よし俺たちは自分たちでやるんだぞ」ということが私に伝わってきました。自分たちで自らの地域をどうしていくかという人たちが、日本中にもっと増えてくると、各地域に元気がでてくるんじゃないかという印象を持ちました。そして寛斎さんの言葉ですが「前例のない未来はない、前例のないのが未来だ」という気持ちをもって行政にあたっていくかなくてはなりません。

この地域では、現在、年間百万反の織物がつくられ、それがいい時の十分の一に減ったらしいですが、一反で着物一着とれるわけで、まだ百万人分が売れているということになり、そうとう驚きました。ちりめんというものを愛し情熱を注ぎ、売るとなると、どうしても愛情が先に立ち、将来ちりめんの人々の生活がどうなるかというところを置いてしまい、自己弁護型に物事を考えてしまうことは、だれしもが陥ることだと思えます。えらくとがった、突き放した言い方をしますが、再度着物ブームがあっても、売れなくなるかという、かなりの確率でノーだと思えます。一方で、広島県と山口県の間に、日本で最もデニムの生地ががんばっているかたがい



**山本 寛斎さん**  
昭和46年 ロンドンで日本人初のファッションショーを開催  
平成5年 文化交流を目的とした「ハロー！ロシア」をモスクワ「赤の広場」で開催  
平成15年 映画「青の炎」で俳優デビュー  
主な役職  
東京ファッションデザイナー協議会幹事  
ロシア国際人道救助協力基金海外顧問  
日本魅力向上研究機構委員

ます。世界でもまれな機械を發明され、世界一のデニムの素材をつくり、ジーンズメーカーに卸しています。ですから、数を攻めたのであれば、多くの人が共鳴するジーンズとちりめんとはいかなる関係になれるかというような、発想もあるのではないかと思えます。海に近いところは、「うちは魚がうまいよ」とか、また布地も「何とか織りがあります」と必ず言われます。私からみると、そのおいしさは、どこにでもある感じがします。大切なことは、日本でどこしかないというおいしさを確立し、自覚し、広報していくならば、かなり辺りなところも、今は求められる時代ではないかと思っています。従来の発想と違うところに、みなさんが元気になる日本の

る中に、次なるヒントがあると思っています。今日の会合も、おそらく日本のいろんなところから、石原大臣に来ていただいたという希望がたくさんあると思います。その厳しい状態をくぐり抜けて、京丹後市でこういう会話が成立していることは、みなさんに「そうとう熱いもの」があると想像しています。きつと情熱と英知をお持ちに違いないみなさんですから、ぜひ、調子に乗っていただいて、この地域全体が、どう進んだらいいのかというようなシンポジウムをつくっていただくのも一つと思います。この地域・丹後の人が集集して、日本のこの地域にしかない活動を、力を足し算にして目指されるべきだと思います。おそらくいろいろな課

題が、これでもかと思えてくると思います。よく行政のかたとお会いして許可をいただくとき、「前例がありません」と言われます。そのたびに、「これから私たちが得る未来に、前例がある未来ってありえますか」と言います。「すべてが前例のない未来」を私たちは得るわけです。それらの道のどれにいくかというときに、前例という「ものさし」を使うと、だめだと信じて活動しています。丹後の人たちが気合を入れてがんばることに對して、応援団の一人として手を上げさせていきたいと思います。世の中は変化していきます。しあわせの感じ方、価値観の感じ方も変化するものと思えます。しかし、自分の手で目標や夢を持ち、それをつかみとっていくとする熱や温度は、人に伝わっていくものだと思っています。ご当地の応援団の一人として、今後なんなりと寛斎に具体的な意見を聞いてみたいという案件がありましたら、できたてはやの高速道で飛んで来てみたいと思います。



# 熱戦 第50回 丹後総合体育大会

## 交流



総合準優勝  
網野支部の選手・役員のみなさん



総合優勝  
峰山支部の選手・役員のみなさん

### 順位表

	峰山支部	網野支部	大宮支部	久美浜支部	弥栄支部	丹後支部
総合成績	1	2	3	4	5	6
陸上青年	1	5	6	2	3	4
陸上壮年	1	2	5	4	6	3
陸上女子	1	6	3	4	5	2
卓球	1	3	2	5	5	4
バレーボール男子	4	1	3	2	-	-
バレーボール女子	5	1	4	2	3	5
バレーボール家庭婦人	1	5	3	4	2	5
ソフトテニス	1	2	5	3	4	5
柔道	1	4	5	3	2	-
剣道	3	1	4	6	2	5
ゲートボール男子	5	6	1	2	4	3
ゲートボール女子	1	5	2	4	3	6
バドミントン	4	1	2	3	5	6
サッカー	4	1	5	3	2	6
テニス	1	4	2	3	-	5
グラウンドゴルフ男子	3	1	6	2	4	5
グラウンドゴルフ女子	5	1	3	4	6	2
ゴルフ	1	3	4	2	5	6
ボーリング	3	1	2	5	4	6
バスケットボール男子	5	1	4	3	5	2
バスケットボール女子	3	1	2	-	5	4
ソフトバレーボール	3	5	4	1	6	2



力強い選手宣誓を行った  
山本秀之さん(右)  
森本智美さん(左)

### 陸上競技

#### 新記録を達成されたみなさん (敬称略)

- 青年男子  
800m 平林稔久(弥栄支部)  
(2分00秒7)
- 女子(35歳以上)  
60m 川戸優子(丹後支部)  
(8秒9)
- 100m 川戸優子(丹後支部)  
(14秒4)
- 走高跳 井元清美(大宮支部)  
(1m34cm)

### 総合成績

- 優勝 峰山支部
- 準優勝 網野支部
- 第三位 大宮支部
- 第四位 久美浜支部
- 第五位 弥栄支部
- 第六位 丹後支部

京丹後市発足後、初めてとなる「丹後総合体育大会」(市体育協会主催)が、九月五日に峰山町を主会場に開催され、市体育協会各支部の代表選手がはつらつとしたプレーで熱戦を展開しました。

「丹後総合体育大会」は、『スポーツの秋』の始まりを告げる九月の第一日曜日に毎年開催。今年で五十回を数える長い歴史と伝統を持ち、丹後地方で唯一の総合的なスポーツ大会として「丹後のオリンピック」とも呼ばれ親しまれていいます。

今大会は、雨天のため一部競技が中止となりましたが、峰山途中ヶ丘グラウンド(峰山町長岡)を本部会場に五町十五会場で、日ごろ鍛えた「力」と「技」を存分に発揮し、白熱した試合が繰り広げられるとともに、スポーツを通して交流を深めました。

午前八時から、途中ヶ丘グラウンドで開かれた開会式では、大会副会長の垣田忠男体育協会峰山支部長の開会宣言の後、「功労者表彰」として、永年にわたり丹後のスポーツ振興、発展に貢献いただいた

手宣誓。雨天のため中止となった軟式野球とソフトボール(壮年男子・一般女子)を除き、今大会から新たにオープン競技として加わったソフトバレーボールなど、十五競技二十二種目にわたって約二千人の選手が終日熱戦を展開。結果、十種目を制覇した峰山支部が九年ぶりに総合優勝に輝きました。

ている、弥栄支部の吉岡美樹雄さんと、丹後支部・清水正夫さんに、大会会長の今西仁体育協会会長から表彰状と記念品が手渡されました。

続いて、今西会長が「日頃の練習の成果を十分に発揮され、すばらしいプレーをされますようお祈りします」と開会あいさつ。また中山市長が「本市最大のスポーツ祭典であり、市民総参加のもと、相互の友情を深め、健康増進、活力ある市民生活の向上のうえで大変意義深い大会です。スポーツを通じて喜びと感謝を感じる一日であってほしいと願います。」

このような活動の積み重ね・延長により、ますます喜びにはじける『京丹後市』が築かれると信じています」と選手のみなさんを激励しました。

また、選手を代表して、山本秀之さん(峰山町丹波・軟式野球)と森本智美さん(峰山町丹波・ソフトボール女子)が「歴史ある丹後総合体育大会を成功に導くため、フェアプレイに徹し、熱い熱い一日にすることを誓います」と力強く選手宣誓。

# 祝長寿

## ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

九月二十日は敬老の日。一昨年までは、九月十五日でしたが、「国民の祝日に関する法律（祝日法）」の改正により、昨年からの九月の第三月曜日となりました。

現在、市内の六十五歳以上の高齢者は、一万七千四百八十九人、人口の約二六・六％を占めています。

市では、新市建設計画の基本理念のなかで、「ともに支え合い、安心して暮らせる健康福祉のまちづくり」を掲げています。

今回は、京丹後市の老人福祉施策について主なものを紹介します。

### 元気なお年寄り

市では、健康で明るく生活する研修などを行っています。また、高齢者趣味の教室として、旧六町で行っていた高齡者大学や趣味の教室を引き続き行っています。これは、高齢者の教養の向上や相互交流を図り、高齡者福祉の増進に資するため行っているもの。各種講義のほか、陶芸教室などの美術実技、市内の史跡を見学す

る研修などを行っています。また、高齡者趣味の教室として、ちぎり絵や盆栽、詩吟などの各種の教室を開いています。このほか、各地区にある老人クラブの活動に対して補助金を交付するなど、自立したお年寄りの活動を支援するための事業を行っています。

### 支援の必要なお年寄り

市では、旧六町で行っていた配食サービスや外出支援サービスを含む「高齡者等生活支援事業」を合併後も引き続き行っています。また、峰山町、丹後町、久美浜町で行っていた「老人福祉電話番号料助成」は、全域が対象になりました。

このほかにも、デイサービスセンターなどにおいて、日常動作訓練、給食、入浴、趣味活動などの「生きがい活動支援通所事業」を行うなど、お年寄りが住みながらこの地域で自立した生活を送るとともに、心身機能の向上を図ることを目的とした事業を行っています。

### 高齢者等生活支援事業

#### 食の自立支援

##### サービス事業

概ね六十五歳以上の一人暮らし、高齡者世帯などで本人、または、家族による食の提供が困難なことが対象。定期的に食事を配達するとともに安否の確認を行います。一食あたり四百円以内の利用料が必要です。

#### 外出支援

##### サービス事業

概ね六十五歳以上の車椅子利用者など、一般の交通機関の利用が困難なことが対象に、ご自宅と病院などの間を送迎します。市内での移動は、一律五百円、市外の場合はお住まいの地域の市民局を基点に五キロメートルごとに三百円の利用料が必要です。

#### 軽度生活援助事業

##### (ヘルパー派遣)

介護保険の対象とならない概ね六十五歳以上の援助

### 老人日常生活用具等給付事業

の必要な一人暮らし、高齡者世帯などのかたを対象に炊事、洗濯などの日常生活の援助を行います。一時間あたり二百円の利用料が必要です。

概ね六十五歳以上の一人暮らし、高齡者世帯などで防火などの配慮が必要なかたに対し、電磁調理器、火災警報器、自動消火器を給付。また、老人用電話の貸し出しを行います。給付の負担額は所得により異なります。また、老人電話の貸し出しは、電話料金のうち基本使用料を助成する制度があります。

### 緊急通報システム設置

概ね六十五歳以上の一人暮らし、高齡者世帯などのかたを対象に、緊急時に備え、消防本部と直結した緊急通報装置を無料で貸し出します。

### 介護が必要なお年寄り

市が介護保険法に基づき「要支援」、または、「要介護」状態であると認定したかたは、同法に基づく介護サービスを利用することができません。

介護サービスには、施設に入所する「施設サービス」と在宅で行う「在宅サービス」があります。

施設サービスとは、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設、介護療養型医療施設などで受けられるサービスです。

在宅サービスとは、訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問入浴介護、訪問看護などです。また、通所介護（デイサービス）や、短期入所生活介護（ショートステイ）なども含まれます。なお、施設サービスは、要介護のかたしか利用できません。

### 施設サービス

介護老人保健施設や、指定介護療養型医療施設では、医学的管理の下に看護や療養などを行います。また、特別養護老人ホームでは、常時介護が必要で在宅介護が困難な要介護者に日常生活上のお世話や、機能訓練などをを行います。

### 在宅サービス

在宅で生活することを基本に、介護事業所に通ったり、短期宿泊したりする、家の中で介護や看護を利用するサービスです。

訪問介護とは、一人で日常生活を営むことが困難なかたを対象に、介護福祉士やホームヘルパーなどの専門家の手によって、健康な生活の確保を目指し、満足できる生活を維持することを目的に、食事、排泄、掃除、洗濯などの援助を行います。

### 介護する家族のかた

市では、高齢者を在宅で介護している家族のかたの身体的、精神的、経済的な負担を少しでも軽くするお手伝いができるよう、「家族介護支援事業」を行っています。

### 家族介護支援事業

在宅で高齢者を介護している家族のかたに対し、介護相談や介護方法・介護予防の知識、技術の習得、介護者の健康・生きがいづくりについての教室を開催。

費用については、教室の内容によって実費をいただくことがあります。

家族介護用品支給事業

介護保険の要介護4または

### 高齢者等生活支援事業

#### 食の自立支援

##### サービス事業

概ね六十五歳以上の一人暮らし、高齡者世帯などで本人、または、家族による食の提供が困難なことが対象。定期的に食事を配達するとともに安否の確認を行います。一食あたり四百円以内の利用料が必要です。

#### 外出支援

##### サービス事業

概ね六十五歳以上の車椅子利用者など、一般の交通機関の利用が困難なことが対象に、ご自宅と病院などの間を送迎します。市内での移動は、一律五百円、市外の場合はお住まいの地域の市民局を基点に五キロメートルごとに三百円の利用料が必要です。

#### 軽度生活援助事業

##### (ヘルパー派遣)

介護保険の対象とならない概ね六十五歳以上の援助

### 老人日常生活用具等給付事業

の必要な一人暮らし、高齡者世帯などのかたを対象に炊事、洗濯などの日常生活の援助を行います。一時間あたり二百円の利用料が必要です。

概ね六十五歳以上の一人暮らし、高齡者世帯などで防火などの配慮が必要なかたに対し、電磁調理器、火災警報器、自動消火器を給付。また、老人用電話の貸し出しを行います。給付の負担額は所得により異なります。また、老人電話の貸し出しは、電話料金のうち基本使用料を助成する制度があります。

### 緊急通報システム設置

概ね六十五歳以上の一人暮らし、高齡者世帯などのかたを対象に、緊急時に備え、消防本部と直結した緊急通報装置を無料で貸し出します。

### 家族介護者ヘルパー研修受講支援事業

現在、高齢者を介護しているか、または、介護していたかたが、その経験を活かしてホームヘルパーとして社会で活躍することを支援するため、訪問介護員研修二級課程、または三級課程を受講した場合に受講料の一部を補助します。

詳しくは、高齢者福祉課  
69-0330  
にお問い合わせください

# 4案件に18の意見

## パブリックコメント制度

市では、今年七月に「京丹後市民意見提出手続（パブリックコメント手続要綱）」を定めました。この制度は、市が定めようとする条例や規則、要綱などについて、市の考え方を示し、市民のみなさんから意見をお聞きするものです。

今回、「府営土地改良事業分担金にかかる減免の割合」を定めた条例施行規則の制定など、四件について意見募集を行ったところ十八件のご意見がありました。市民のみなさんからいただいたご意見と、市の考え方は次のとおりです。なお、紙面の都合ですべての意見を掲載することができません。また、ご意見は、要約、分割して掲載しています。

### 府営土地改良事業 分担金の減免割合

#### ◎幹線農道(市道相当)の 分担金減免要件 意見要旨

○減免要件の幹線農道(市道相当)の定義を明確にすべきである。

○幹線農道は、市道相当とあるが、市道バイパス、通学路、防災、集落間交流などさまざまな利用形態があり、限定せず、減免すべきである。

○農村地帯の農道は、幹線ではなくとも公共性の高い道路であり、地域の実態に応じて市道相当と判断し減免すべきである。

○減免要件に橋りょうの項目がないが、減免要件に追加すべきである。

#### 市の考え方

○厳しい財政下においては、一日も早く総合計画、行財政改革などの関係計画を作成し、施策を進めるべきだ。議会政務調査費の交付制度を先行して提案することは、市民感情として理解し難い。

○月額二十八万円の議員報酬は、何に對しての報酬か。政務調査を含む議員の仕事への報酬のほず、財政難をどうクリアするかの手段として行われたのが合併ではないのか。

○政務調査費の交付は、地方自治法に規定があるが、慎重に対応すべきだと思つ。

最大の課題である行財政改革に全力をこ、市長、議員ともに主張され市民も全く同感の今日、今回の対応に関係者の中でどんな論点があつたのかと思つ。

○厳しい財政状況の中で、議員だけが多額の報酬、加えて政務調査費月額一三万円交付。市民の認識とは裏腹にこの条例を定例会審議に乗せるほどゆとりの財政なのか。市民は合併による水道料金、し尿処理料などの負担額の増減に一喜一憂しているのが現状だ。

意見募集する前にもつと説明が必要だつた。

○議員の職務は、市内外を調査し、市民の声を聞き市政に反映すること。それに見合う報酬は支払われていると考える。したがって、現段階での政

務調査費は、たとえ会派に對してでも不要と考える。

地方分権を推進していく上で、地方議会が担う役割はますます重要性を増しており、市議会の機能強化が求められています。このような状況において、市として議会調査活動の基盤となる最低限の政務調査費を交付することは必要ではないかと考えます。

議員の調査研究活動に要する経費は、議員報酬に含まれるとの意見もありますが、報酬は議員活動の対価としての本来の報酬として、また政務調査費は議会活動に係る調査研究に要する経費として区分して取り扱うことが適当ではないかと考えます。

れるものと考えています。

### ◎幹線排水施設(河川)の 分担金減免要件 意見要旨

○幹線排水施設には、排水路と強制排水設備があり、字句で区別し、幹線排水路および河川とすべきである。

○支線排水路でも幹線相当の排水路があるため、幹線相当の支線排水路も減免対象とすべきである。

○河川でなくても洪水対策など、環境整備に寄与しており減免対象にすべきである。

○土地改良事業で造成される水田および幹線、支線排水路は大量の雨を貯めるダムの治水施設と位置づけることができる公共的施設であり、減免要件に追加すべきである。

○分岐排水路、幹線排水路の防潮施設(樋門)も、施設の公共性から減免対象とすべきである。

○幹線排水施設は、整備前に普通河川であった施設(水路など)を、土地改良事業で地区内の基幹排水路などとして整備した場合を対象としており、自然流下の排水路や強制排水施設との区分はしていません。減免対象の幹線排水施設には、単に排水路だけでなく、防潮樋門などの排水関連施設も含むものと考えています。

減免対象を河川と限定する理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

理由は、他課で行う河川整備

事業と同一水準で地元負担の軽減を図るため、市が管理する普通河川について減免するものであり、河川以外の水路については、他事業との公平性に問題があることから対象とすることは困難と考えています。

支線排水路については、ご指摘のように農業用水だけでなく、集落および地区内の雨水も混入するため、洪水調整機能を持つ施設と考えられます。しかし、これを減免要件に加えますと、すべての排水路について普通河川に準ずるものとなり、他事業との公平性の問題や市の財政上の問題があり困難と考えています。

小規模土地改良事業補助金の補助率

### 意見要旨

○小規模土地改良事業は知恵と自助努力をする意義ある事業である。三十戸未満の小集落に對しては負担の軽減を考慮し、労務のみの負担とすべきである。

○本事業の趣旨は、工費費のコスト縮減、集落・営農組織の育成・強化、施設の良好な維持管理を目的とし、地域住民参加型事業への支援措置として位置づけ、地元施工される小規模な土地改良事業の資材費・機械費に對し、一定額の補助金を交付し、農家負担を軽減する事業です。

○市財政が厳しいため、計上すべきでないという声もあるが、市民の代表である市議の研さん、活動の報告(透明性)の確保のためにも支出し、有効に利用していただければ良

# あなたの声を市政に 「意見箱」

市では、市民のみなさんからご意見やご提案をいただき、市政や、行政運営などに反映させ、住みよいまちづくりを行うため八月から「ご意見箱」を設置しています。設置から約一か月の間に、約二十件のご意見をいただきました。今回、いただいたご意見の主なものと市の考え方についてご紹介します。

## 積極的な国際交流を

海外の国の都市と姉妹都市を結んで、交換留学生やホームステイなどを積極的に行って京丹後市を国際交流豊かなまちにしてください。

また、市内にはさまざまな国のかたが住んでいて、そのかたたちが差別されないように市民に理解を呼びかけるような機会をつくってほしい。

(市内・女性)

国際社会に対応した人材育成は、市としても積極的に取

り組むべき重要な施策の一つです。

合併前には、弥栄町がスイス連邦のマイリンゲン村と姉妹都市を結んでいました。今後、市としてどういった形で国際交流を進めていくかを検討していきたいと考えています。

また、市内にはさまざまな国のかたが生活しています。誰もが異なる文化を理解し、人権が尊重されるようあらゆる機会を通じて啓発し、相互に共存できる平和で豊かな京

丹後市を築いていきたいと考えています。

【企画推進課】



弥栄町とマイリンゲン村（スイス連邦）は姉妹都市を提携

## IT環境の充実を

京丹後市は、京都市内に出かけるのに何時間もかかり不便な地域です。

だからこそ、インターネットの充実が必要ではないでしょうか。京丹後市内では、ADSLの利用できる地域とできない地域があります。現在、市が設置している光ファイバ網を利用して、高速通信が可能で、そのうえ、利用料金が一定のADSLを市内のどの地域に住んでいても使えるようにならないでしょうか。市内のIT格差解消のために、ぜひ、検討をお願いします。

(市内・男性)

現在、京丹後市内では数社がADSLサービスを行っています。しかし、設備や事業者の採算性の面などからサービス未提供の地域があります。

市では、昨年度に整備した市役所庁舎や公共施設を結ぶ「地域公共ネットワーク」の光ファイバ網を幹線として活用し、それより先の家庭や事業所へ向けた超高速・大容量情報ネットワークを、全市域を対象に整備する計画づくりに着手しています。



超高速通信が期待されるインターネット

ととしています。

【情報システム課】

この事業は、超高速インターネット接続環境の整備、デジタル放送に伴う行政情報の提供、自主制作番組の放送、難視聴地域の解消、さらには、高度情報通信基盤を活かした福祉、防災、教育などさまざまな分野において、市民サービスを向上しようとするものです。

「ご意見箱は、市役所各庁舎と弥栄病院、久美浜病院の八か所に設置しています。また、市ホームページにも専用のページを設けています。ぜひ、ご利用ください。」

これまで公共施設を利用するときは、各施設に電話して、空き状況を確認する必要がありました。

そこで市では、みなさんの利便性が向上するよう、休日や夜間でも市ホームページに接続して公共施設の空き状況

の確認や予約ができるように改修を行いました。

十月からは自宅のパソコンや市内の公共施設などに設置しているタッチパネル式端末から、市のホームページに接続して申し込みができるようになりました。

## ●予約後は申請が必要

なお、予約システムや電話での予約は「仮受付」ですので、決められた期日までに各施設の受付窓口利用申請書を提出していただく必要があります。申請書が提出されることで利用申請手続きが完了します。(申請書は各施設の受付窓口にて備え付けのものをご利用ください)

## ●ユーザー登録が必要

公共施設予約システムを利用するには、ユーザーIDとパスワードが必要です。事前にユーザー登録を行ってください。

ホームページで「ユーザー登録」をクリックし利用者情報を登録。ユーザーIDとパスワードは登録後即時発行します。取得したIDとパスワードを使用して公共施設予約システムをご利用ください。

## 公共施設の予約

# 市ホームページで可能に

10月1日からサービス開始

●公共施設予約システムに接続するには京丹後市ホームページ <http://www.city.kyotanago.kyoto.jp/> に接続してください

市ホームページから「公共施設予約」をクリックすると接続できます



●このシステムをご利用になるにはFlashプレーヤーが必要です。Flashプレーヤーは、下記のホームページから無償で取得することができます。 <http://www.macromedia.com/jp/software/flash/>

予約システムについては、情報システム課(☎69-0130)にお問い合わせください。また、施設については、各施設の窓口にお問い合わせください。

- 予約できる施設
- ▽峰山町II峰山総合運動公園
  - 峰山途中ヶ丘公園、天女の里
  - 峰山地域公民館、峰山織物センター、▽大宮町II大宮織物ホール、小町公園、大宮社会体育館、大宮自然運動公園、▽網野町II網野体育センター、網野グラウンド、▽丹後町II丹後地域公民館、丹後社会体育館、豊栄山村広場、▽弥栄町II弥栄地域公民館、弥栄社会体育館(改修工事のため年内は使用できません)、▽久美浜町II久美浜公会堂、久美浜福祉センター、久美浜婦人センター、久美浜林業センター、久美浜農業センター、久美浜機業センター、久美浜果樹センター、久美浜健康センター、久美浜きよそんセンター

# 糖度はバツグン 玉太りもまぶまぶ

## SANKAIKANでくだもの品評会

丹後の秋の果物を一堂に集め、出来栄を披露するとともに消費者に広くPRする「丹後くだもの品評会」がくみはまSANKAIKANで九月十日から三日間にわたって開かれました。



出品されたナシを、一つひとつ手にとり厳しく審査する審査員

この品評会は、果樹農家の生産技術や品質向上を目的に、丹後果樹研究同志会（家城俊和会長）が開いているもの。出品された丹後の美味しい果物を全国に知ってもらおうと、観光客らが立ち寄る同所で展示・販売しました。

会場には、久美浜町や網野町などの農家約二十戸から出品された「ゴールド二十世紀」など梨二品種四十四点、「ピオーネ」、「藤稔」などブドウ三品種七点がズラリと並び、丹後農業研究所や、丹後農業改良普及センターの職員ら八人の審査員が色つや、大きさ

【ナシの部】京都府知事賞  
II安井松弘さん（網野町新庄）  
▽京丹後市長賞II長砂加吉子さん（久美浜町平田）  
▽京都丹後農業協同組合長賞II白岩功さん（久美浜町平田）  
▽丹後地区農業共済組合長賞II白岩秀一さん（久美浜町平田）  
▽丹後果樹研究同志会長賞II牧野美波子さん（久美浜町三分）  
▽久美浜町果樹観光協会賞II白岩秀一さん（久美浜町平田）  
【ブドウの部は出品が少なく表賞はありませんでした】

九月一日、久美浜町果樹観光協会（米田豊会長・十七戸）が、味覚の秋のシーズン到来を告げる「山開き」を行いました。国営農地浦明団地（久美浜町浦明）にある能勢侃さん（同町平田）のナシ園に久美浜町内保育所の年長組園児八十九人が招待され、さっそく、たわわに実ったナシをもぎ取り、口いっぱいにはおぼせていました。

久美浜町は、約九十戸の農家が、丘陵や国営農地など約七十畝に「京たんご梨」のブランド産品のゴールド二十世紀などを栽培している府内最大のナシ産地。観光ナシ園は、同協会員十七戸が三畝で毎年開いているものです。

米田会長によると、「今年は雨が少なく玉太りは例年並みだが、猛暑と盆すぎから昼と夜の気温差が大きかったことで甘味は例年以上」とのことです。

もぎたてのナシをほおぼる園児たち



# 味覚の秋シーズン到来

## 久美浜で山開き



コンサートは境内を舞台に行われました

八月二十八日、久美浜町西本町の如意寺で、「赤とんぼコンサート」（同実行委員会主催）が開かれ、町内外から集まった夫婦や親子連れなど約二百五十人が野外での音楽を楽しみました。

このコンサートは、久美浜町の元PTA役員らが実行委員会を組織し、「文化施設の少ないこの地域で、少しでも文化に触れる機会を」と企画したもので、今年で二回目の開催となります。

# 生の音楽にうつつとり

## 久美浜で赤とんぼコンサート

元PTA役員開く

出演は、ジャズピアノリストの河野康弘さん。河野さんは、「自然」をテーマに国内外で演奏活動をされています。また、大宮町常吉で毎年行われている「あじさいコンサート」にも出演されています。

午後六時三十分から始まったコンサートは、お寺の境内が舞台。ジャズのスタンダードナンバーや、河野さんのオリジナル曲約十曲が演奏されました。来場者は、手拍子をしたり、軽く体を揺らしたりしながらリズムをとって、普段あまり聞くことのない生の音楽にうつつとりと聞き入っていました。



ゲーム形式での講習も行われました(8月29日)

# バレー協会が講習会開く

## 競技力の向上目指し

八月七日と二十九日の二日間、弥栄社会体育館（弥栄町木橋）で、京丹後市中学校体育連盟バレーボール専門部が主催する「バレーボール競技力向上講習会」が開かれました。

この講習会は、バレーボールの競技力向上を目的に、毎年、夏休みを利用して行われているもの。市内の中学校バレーボール部員の一・二年生

参加した生徒たちは、汗まみれになりながら一つひとつの練習に取り組んでいました。また、顧問の先生もメモをとるなどして練習方法を学んでいました。

七日の講習会では、パスやアタックなどの基礎的なプレーを、二十九日には、ゲームを行いながらチームプレイを中心とした講習が行われました。

# 台風で大量のアシ漂着 2トンドンプ30台分撤去

九月十六日、網野町浜詰海岸でアシなど漂着物の撤去作業が行われました。

今回の作業は、二度の台風襲来の影響で、市北西部の海岸一帯にアシやごみなどが大量に漂着したことによる。この地域は、



大量のアシを撤去する地元区民

山陰海岸国立公園に指定され、年間を通じて多くの観光客が訪れるため、ごみを放置することは景観上好ましくないというので、地元と協力して行われました。

当日は、地元のかたや市職員など約四十人が参加。浜詰海岸の木津川から東側約一・五キロメートルに漂着したごみを撤去しました。

撤去したごみは、二トンドンプで約三十台分。大宮最終処分場に運搬したアシは、焼却せず破砕などの処理を行い、たい肥としての利用を検討しています。

なお、久美浜地域については、車両の出入りに環境省の許可が必要のため、許可され次第行うこととしています。

**伊調千春さん**  
**井上謙二さん**  
**寒川一進さん**

**銀** レスリング女子48kg級  
**銅** レスリング男子  
フリースタイル60kg級  
**銅** 車椅子男子  
1600mリレー

**網野高等学校出身**  
**アテネオリンピック**  
**アテネパラリンピック**

府立網野高等学校出身で、アテネオリンピック(八月十三日〜二十九日)のレスリング競技に出場された、伊調千春さん(女子四十八kg級)が銀メダル、また井上謙二さん(男子フリースタイル六十kg級)が銅メダルと二人そろって見事にメダルを獲得されました。

伊調さんは、一次リーグでは一、二回戦で相手に一ポイントも許さず快勝。決勝トーナメントの準決勝では、テクニカルオールがちで決勝に進出。決勝戦では、先制されたものの同点に追いつき、一進一退の延長戦の末、惜しくも判定負けとなりましたが、堂々の銀メダルに輝きました。

また、井上さんは、一次リーグで初戦に敗れたものの、残り二試合を完勝し決勝トーナメント

に進出。準決勝では、残念ながら延長戦で逆転をゆるし敗れたものの、三位決定戦では延長の末に、見事銅メダルを獲得されました。

お二人が出場する試合では、「ら・ぼーと(網野町網野)で、網野高等学校のレスリング部の後輩やちびっこレスリング教室の子どもたち、学校関係者などがテレビ中継を大型スクリーンで観戦。「栄光に近道なし」、「必勝」などの横断幕が掲げられた会場では、ポイントをあげるごとに大きな声援に包まれ、メダル獲得が決まると、喜びを爆発させていました。

また、同じく網野高等学校出身で、アテネパラリンピック(九月十七日〜二十八日)の車椅子陸上競技に出場された寒川進さんが、男子一六〇〇mリレー(四〇〇m×四人)で銅メダルを獲得されました。

寒川さんは、短距離、中距離ではメダルを逃したものの、リレーでは、チームワークよく序盤に首位をキープするなど常にリースをリードし、見事に銅メダルを獲得されました。

三人の活躍を讃え、十月十六日に祝賀事業(両大会出場実行委員会主催)を開催し、市ではその席上で表彰を行う予定です。

**心地よい浜風をうけ さわやかな汗**



台風の影響が心配された八月二十九日、網野町の浜詰海岸で「日本海ビーチドッジボール大会」が開かれ、市内のチームのほか、和歌山県や大阪府など近畿一円から三千九チーム、約二百八十人の参加者が、浜風を受けながらさわやかな汗を流しました。

大会は、スポーツを通して交流と健康づくりを図るとともに、風光明媚な京丹後市のPRを目的に、網野町商工会青年部の主催により開催された。

結果は次のとおりです。(敬称略)

優勝	ファンタ(網野町)
準優勝	ジャマイカ(峰山町)
第三位	黒豆団(久美浜町)

橋本 宗英	井藍 啓義	酒井 慎	木曾尾政之	平井 克哉
尾崎 孝行	福島 康寿	手崎 忠則	尾谷 政宣	平井 信也
尾崎 孝行	福島 康寿	手崎 忠則	尾谷 政宣	平井 信也
尾崎 孝行	福島 康寿	手崎 忠則	尾谷 政宣	平井 信也
尾崎 孝行	福島 康寿	手崎 忠則	尾谷 政宣	平井 信也

**なごきんご**

**峰山内職友の会**

内職をされるかたの労働条件の向上と、生活の安定を図るため、内職の斡旋や技術指導を行っている「峰山内職友の会」(会長・粟倉みち子さん)をご紹介します。

同会は、昭和三十三年四月に、京都府の認可を受け「奥丹後内職友の会」として会員約三百人で発足。昭和三十四年に「峰山町内職友の会」と名称を変更し、その後平成九年に「峰山内職友の会」に変更され、現在では、市内全域の約九十人のかたが登録されています。

「内職友の会」は、全国的な組織で、府内には十四団体が、子育て中の主婦や高齢者のかた、障害があるかたなどが、自宅で安心して仕事ができるように内職の斡旋を行っています。

役員の坪倉明子さん(峰山町安)と事務局の山根登美枝さん(峰山町萱)は「若いかたや、織物業をされていたかたなど、たくさんのかたが仕事を探して来られます。多くの企業のかたにご協力いただき、もっと活動の幅を広げていきたいと願っています」と話されています。

「峰山内職友の会」では、責任感あふれるかたが、「和服の仕立て」や「ミシン」、「手芸」、「商品ののりつけ」、「検品」などを行っています。

「今すぐ作業をしてくれるかたがほしい」、「人を探す時間や経費がない」というときには、お気軽にご連絡ください。

事務所近くのかたは、毎日集まって仕事をされています。この日は、3人の会員のかたが、一つひとつ、ていねいに検品をされていました。



**お気軽にご連絡ください**

**連絡先**  
〒627-0037  
京丹後市峰山町堺663  
峰山内職友の会  
(☎62-1769)  
月曜日～金曜日  
10:00～16:00

**消費生活ミニ講座**

今回は、若い方から多くの相談が寄せられる、消費生活にかかわるトラブルをご紹介します。

**資格(士)商法**

「〇〇士」などの資格取得講座を、言葉巧みに勧誘する商法を「資格(士)商法」といいます。扱われる資格も、行政書士、建築士、旅行業務取扱主任者、社会保険労務士などさまざまです。「受講するだけで資格が取れる」とか、「資格を取れば、高収入につながる」などと強調し、「結構です」とか「ハイハイ」などのあいまいな返事をする、契約したことにされてしまう場合があります。最近では、「以前受講してもらった講座がまだ終了していないので、再度受講してください」などと偽って、勧誘する場合があります。

このような「電話勧誘」の場合、特定商取引法が適用され「クーリング・オフ(契約の解除)」ができます。

※クーリングオフ制度とは

消費者が、訪問販売などにより契約(申し込み)をした場合でも、契約書面を受け取った日を含めて8日以内(特定の商法によるものは20日以内)であれば、無条件で契約の解除ができる制度です。(詳しくは、下記の相談窓口へお尋ねください)

**相談窓口**

京都府消費者科学センター (☎075-821-0210)  
京都府丹後広域振興局商工観光室 (☎62-4304)  
京丹後市商工振興課 (☎69-0440) または市民局地域事業課



# 美しい丹後の海を いつまでも大切に



竹野小学校



網野北小学校

海や自然を大切に育む心と、九月三日には竹野小学校、また九月十日には網野北小学校の児童が、マダイの稚魚を放流しました。

放流は当初、八月二十九日の「ふるさと海づくり大会」(同実行委員会主催)で行う予定でしたが、台風十六号の影響で中止となったために、改めて実施したものです。

竹野小学校では、この日、全児童三十三人が、夏に楽しい思い出をいっぱい残した竹野浜で、お礼の意味を込めてごみ拾いを行い、その後、一年生から三年生までの十二人が、京都府栽培漁業センターで育てられた約七センチのマダイの稚魚約五百匹を放流。子どもたちは、「あそこ、またいるよ」、「こっちにもいっぱい」と元気よく泳ぐ稚魚の姿を、やさしいまなざしで見守っていました。

## 子どもが育む心と自然の大切さ

### 青少年の海と漁業に関する体験作文

京都府水産振興事業団が募集していました「青少年の海と漁業に関する体験作文」には、府内北部から299編の力作が寄せられました。最優秀作品に輝いた金安亜紀さん(湊小学校5年生)の作文をご紹介します。



「湊の漁業に思う」  
湊小学校5年生  
金安亜紀さん

私は、小さいときから、漁業に関わってきました。お父さんは、湊の漁業協同組合で働いていて、おじいちゃんも、私が生まれる前からカキの養殖をしていました。だから私は、小さいころから、カキの種付けを見てきました。

カキの種は、岩手県の水産試験所から買っています。種は、ほたて貝にくっつけています。それを針金でロープにくっつけます。一本のロープに三十枚くらいをくっつけておくといいです。全部手作業です。私は、小さいころは、こんな小さなものが大きなカキに成長するなんて考えられませんでした。私のお父さんは、朝五時から漁港で働いていました。朝起き

たら、いつも仕事に出かけていました。こんなに朝早くから大変な仕事だなぁと思っていました。しかし、本当に漁業の仕事や大変さがわかったのは、小学校の中学年くらいからです。

今年のゴールデンウィーク後に、漁村センター前で地域の人にお世話になって、五年生全員でカキの種付けをしました。小さいころ、おじいちゃんたちがしているのを何度か見たことがありますが、だから簡単にできると思っていました。でも、やってみると、針金をうまく曲げられなかったり、貝がらを上にくっつけられなかったり、結び方が反対になったりしました。すごくむずかしくなりました。いつも見ているカキになるには、こんな苦労があるんだなぁと思います。大変な仕事です。私がしたのは、二、三本でした。それだけでも大変でした。なのに、数百年ものロープに種をつけるのは大変な仕事です。そして、この種が大きく成長して食べられるようになるかどうかは、保証がまったくありません。フグやチヌに食べられてしまうこともよくあります。また、潮の流れによっても、成長も変わってきます。種付けをして、「カキだなぁ」にくっつけておくだけではだめなんです。いつも注意して、いなければなりません。それだけに、気のぬけない仕事なのだということもわかりました。

種付けをしたロープは、お世話になった人の「カキだなぁ」

取りつけさせてもらいました。湊の特産物は、カキです。でも、特産物と呼ばれるようになるには、長い歴史と湊の人たちの努力や苦労が積み重なって初めてそう呼ばれるものだとわかりました。

「カキあげ」は、寒くて雪で湾がすすんでしまうような、一月から二月を中心に行われます。これも手作業です。一つひとつのカキを手でロープからはずしていきます。カキは、どろどろと出ていたり、海藻がくっついていたりします。それを一個ずつそうじしていきます。「手が冷たくておっつてしまいうだ」と、家の人が話していたのを思い出します。そして、商品になるもの、ならぬものを一つずつ手に取って見ていきます。商品になるまでは本当にうれしい仕事です。

湊には、カキというすばらしい特産品があります。このカキを、テレビやインターネットを利用して、全国の人にせんでんできないかと思っています。湊のカキのすばらしさを知らない人は、まだまだたくさんいると思います。

私たちも、もっと湊の漁業に関心を持ち、自分でできることから一つずつやってみようと思います。海をよびたいの、その小さな第一歩が大切です。でも、この第一歩がすごく大切なのだと思っています。私は、これから始めたいと思います。そして、私の大好きなふるさとである「湊」の漁業を、いつまでも一緒に生きていきたいと思います。

## 秋空の下 軽快なスティックさばき 峰山パラリンピック



笑顔あふれる一日でした

秋とはいえ真夏のような強い日差しが照りつける九月十一日、「峰山パラリンピック」(峰山教育分室主催)を途中ヶ丘公園(峰山町長岡)で開催し、六十人の参加者がグラウンドゴルフを通じて和やかに交流を深めました。

この催しは、障害者のかたに気軽にグラウンドゴルフに親しんでもらおうと、平成六年から毎年開催しているもので、今年で十一回目を迎えました。

開会式では、市体育指導委員協議会の尾畑與市峰山支部長が「みなさんの熱意でいい天候に恵まれました。自然の中で、グラウンドゴルフを存分に楽しんでください」とあいさつ。続いて、参加者を代表して峰山町身体障害者更正会の久下和雄会長が「正々堂々とプレーすることを誓います」と選手宣誓を行い、準備体操の後、早速十六ホールにわかれて競技を開始しました。

今大会には、社会福祉協議会や一般のかたのほか、五箇小学校と新山小学校の児童八人もボランティアとして参加。手をたたいたり、大きな動作でゴルフポストの位置を教えるなど、一人ひとりに声をかけ、交流を深めながら心地よいスティック音を響かせていました。

### 「未来の京丹後市」 「絵画・作文コンテスト」

【作文の部】京丹後市教育長賞  
小北 志織さん  
(峰山中学校三年生)



私が、未来の京丹後市に望むことは、高齢者にとって住みやすい市にしてほしいということです。少子高齢化が進む中で、高齢者を支えていく役目が私たちにありたいと思います。

私の家は、祖父も祖母も一緒に暮らしています。毎日顔をあわせるので、言い争うこともありますが、口うるさく言われることもあるけれど、祖父や祖母から学ぶことは多いです。例えば、戦争中の暮らしについて、食卓はイモやカボチャばかり並んでいて、肉なんてめったに食べられなかったこと。家族を失ってしまったことなどです。

いつだったか祖母は、「今の時代は、ぜいたく過ぎる」と言っていました。確かに、学校の給食は、毎日のように残っています。電気をつけっぱなしや、水の出っぱなしなど、食べ物や資源

の無駄使いが多いと思います。高齢者のかたは、私たちの知らないことを知っています。高齢者のかたと私たちが、交流できる機会をもっと増やしていきたい。昔の経験などを語ってもらったことができたなら、私たちにどうして知識を広げるよい機会になるかと思えます。京丹後市には、七姫伝説などの言い伝えもあるので、昔話をしてもらうこともよい交流の機会になるのではないのでしょうか。

私の家のように、祖父や祖母と同居している家は、自分たち家族で世話をしあがられますが、最近は一人居らしをしてもらわれる高齢者のかたも多々あります。そのような高齢者のかたのためにあるのが、老人ホームです。しかし、高齢者のかたの人数に対して、施設の数が少ないし、働く

私は、小学校のころに、度々施設を訪ねさせていただきました。歌を披露したり、肩たたきをしたりしました。ホールに集まって交流もしましたが、ホールいっぱいには高齢者のかたが座っておられました。こんなにも多くの高齢者のかたが、介護を必要とされています。しかし、まだまだ十分ではないことがたくさんあります。

私たちは、もっと福祉のことに興味を持つべきです。そして、ボランティア活動などに積極的に参加すべきだと思います。高齢者のかたと交流することで、福祉について考えるよいきっかけになれば、介護士やホームヘルパーの仕事にも興味をもてると思います。

高齢者のかたにとって、住みやすい市になるように、施設を増やしたり、交流の機会を設けて、少しずつ高齢者のかたに対する意識を高めていけたら、市全体がよくなっていくと思います。

私も積極的に高齢者のかたと接していきたい。

私が大人になるころは、高齢者のかたが何一つ不自由しない、ボランティア活動であふれる市になってほしいと思います。

# 京丹後市の文化財 五

弥栄町和田野

峰山町矢田 大田南五号墳出土

方格規矩四神鏡

(ほうかくきくししんきょう)

大田南五号墳は、弥栄町和田野と峰山町矢田にまたがる標高八八・二層の丘陵上に立地する古墳（お墓）です。古墳は、丘陵を削って長方形に形を整えたもので、長辺二八・八層・短辺二二・三層。四つの埋葬施設があり、そのうちの中心的な埋葬施設に青銅鏡（せいどうきょう）が納められています。

この埋葬施設は、板石を組み合わせてつくった長方形の石棺を埋納し、棺の内法は、長さ一七七層、最大幅六九層。棺に葬られた被葬者の頭付近には、赤い朱がまかれていました。そして、頭近くの石棺の隅には、布にまかれて木箱に納められた青銅鏡（せいどうきょう）が置かれていました。（木箱は腐ってしまい、鏡に付

着した部材がわずかに残っていたのみ）このほか右足付近には、布にまかれた鉄刀が置かれていました。青銅鏡は、直径一七・四層の「方格規矩四神鏡」（ほうかくきくししんきょう）と呼ばれるものです。中央のひもを通す周辺は正方形（方格）で、その周りにはT・L・V字形の文様（規矩）が配置され、その間にはキトラ古墳の壁画にも描かれている中国の「玄武・青龍・朱雀・白虎（四神）」が表現されています。また、外側の円弧部分には、銘文が記されています。銘文は、「青龍三年、顔氏が鏡を作ったが、文様も立派に出来上がった。左に龍を、右に虎を置いて不詳（祥）を避け、朱雀と玄武も陰陽に従って正しく配置した。八子と九孫がすべ

て中央の職に就き、寿齡は金石の堅きが如く長生きし、候王となるにふさわしい」というものです。注目されるのは、「青龍三年」（二二五五年）という中国・三国時代（二二〇年～二六五年）の魏の年号が記されている点です。魏志倭人伝によれば、卑弥呼が魏に使いを送ったのが景初三年（二三九年）とされています。大田南五号墳出土鏡の青龍三年は、その四年前にあたります。なぜ魏の年号を記した鏡が、大田南五号墳のような小さな古墳に埋葬されていたのか、謎が深まります。

なお、大田南五号墳からは、石棺を埋め戻した後、お祭りに用いられた土器が出土しています。土器の形から三世紀後半～四世紀初頭のもので、青龍三年よりも少し後になります。おそらく被葬者が、生前に手に入れ、亡くなった時に埋納したものでしょう。この鏡は、日本で出土した年号を記した鏡の中で、最も古いものであり、平成八年に国の重要文化財に指定されています。



方格規矩四神鏡

京都府電気工事工業組合・宮津支部の組合員のみなさんが、八月二十五日に弥栄町の一人暮らしの高齢者宅を訪問して、電気配線などの無料診断を行いました。無料診断は、経済産業省が八月を「電気使用安全月間」として主唱する一環として毎年実施されているものです。午前九時、弥栄庁舎前に集合した宮津支部の峰山・大宮・弥栄班の組合員と関西電力、市消防本部がグループになり要望のあった二十軒を訪問。配電盤やコンセントなどを一つひとつついでいねいに点検するとともに、電気の正しい取り扱い方法の説明や、火の扱いについて注意を呼びかけました。

## 一人暮らしの高齢者宅 配線なども無料診断



京都府電気工事工業組合 宮津支部

# 市立図書館 ご案内

## 丹後図書室

毎週水曜日の10時30分から20分程度、2歳ぐらいまでのお子さんを対象に、「絵本の読み聞かせ」を行っています。

楽しいひとときを、お子さんと一緒に過ごしてみませんか？

絵本のほかにも一般書、児童書、紙芝居など、1万7千冊の蔵書があります。昨年度よりも利用者も増え、今後もよい本が紹介できるように努めていきます。

来室したことがないかたは、ぜひ一度お立ち寄りください。

## あみの図書館

あみの図書館では、8月29日に小学生を対象として「科学あそび教室」を開きました。

今回は、みんなで「びゅんびゅんゴマ（ぶんぶんゴマ）」に挑戦。6層四方の厚紙に思い思いの模様や絵を描き、ひもを通してつくり、最後に回す練習をしました。

自分で描いた模様が、回ることによりまた違った模様に見えることにびっくり。「きれい！」と、あちこちから歓声が聞こえました。



## 久美浜図書室

図書室が遠く、利用できない児童に良書を紹介することにより、豊かな心を育てようと、平成6年から夏休みを利用して町内6小学校の登校日にあわせて「移動図書室」を開設しています。

子どもたちが、玄関で待っていてくれて、本の入った重いケースを運んでくれたりもします。

今年の夏休みの利用者は、延べ463人、貸出冊数833冊。今後も心を込めて取り組んでいきます。

## おすすめの本

網野町 夢人（50代男性）

『生きていてよかった』相田みつを 著（ダイヤモンド社）

人生の応援歌です。励ましの言葉や人生訓があたたかい文字で書かれています。

特に、現代は癒し（いやし）の時代で、若いかたに読んでほしいと思います。ピッタリの言葉がいっぱいあり、勇気づけられます。

「いいことはおかげさま。わるいことは身から出たさび」、「そのときどう動く」、「いまここ」。さあ、今から…

本書を所蔵している館

峰山図書館・あみの図書館

## 図書館と私

「本が大好き！」 吉岡奈津代さん（網野町網野）

我が家では、生活の中に図書館が溶け込んでいます。現在3人の子どもたちは、それぞれ図書館を利用しています。私は、元来、子どもは本好きであり、ほんの少しのきっかけや後押しで、いくらでも本好きな子どもになり得ると思っています。

大人が「この本がいいだろう」と思って与えても、子どもの反応はそれぞれの子どもで違います。何が元で本好きになるかは「当てもの」に相当するくらいですが、それなら沢山の機会を大人がつくってあげるしかないと思います。

図書館に数多く置いてある紙芝居が、わが子の本好きの始まりでした。大きな絵で場面展開し、3人一度に読んで聞かせられる紙芝居は、我が子を引きつけました。紙芝居を全部借り切ってしまうころになると、幼い子どもたちは徐々に童話へと移っていき、今度は子どもが本を選ぶようになりました。読んでほしい本、読みたい本があるということは素晴らしいことだと思います。長女が、次から次へと自分で読みたい本に出会うようになり、弟たちもそれぞれのきっかけで本好きになり、3人はずっと本とともに生活しています。

今では、利用カードは家族全員の5枚をフル回転して利用し、身近な生活の一部である図書館は、我が家ではなくてはならない存在になっています。

### 京丹後市の誕生を記念し 丹後ちりめん製の「市章」を寄贈

#### 丹後織物工業組合

京丹後市の誕生を記念して、立ての縦六十三センチ、横七十センチの丹後織物工業組合（理事長・坂根徹さん・大宮町河辺）から絹織物でつくられた京丹後市の「市章」を寄贈いただきました。

「市章」は白染めの先練り糸を縦横に使った平織りで、「丹」の字をデザインした「市章」を縫い取りで織り上げられ、額仕



丹後ちりめんを使って縫い上げられた「市章」が、坂根徹理事長（右）から中山市長に手渡されました

坂根理事長は「各施設に飾っていただき、織物業が市の基幹産業であることを改めて認識していただく」ともに、『丹後ちりめん』のPRに役立てていただければうれしく思います」とあいさつ。また、中山市長は「市の象徴である『丹後ちりめん』は本市の産業の柱であり、改めて感慨深く受け取らせていただきます。市としても『丹後ちりめん』の発展にできる限りのバックアップをしていきたい」と感謝の言葉を述べました。

「市章」は、市長応接室をはじめ、各市民局や小・中学校、公民館など市の施設に設置する予定にしています。

### 福祉救援ボランティア コーディネーター講座

### もしもの災害に備え



いざという時に備え、問題などを検討しました

災害が発生したときのボランティアの調整役を養成する「福祉救援ボランティアコーディネーター講座」（市社会福祉協議会主催）が、九月八日に峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で開かれ、非常時の課題や対応などについて理解を深めました。

講座は、災害時に各地から訪れるボランティアの活動が効果的に展開されるためのリーダーを養成する目的で開かれ、市内で活動するボランティア団体のリーダーや社会福祉協議会の福祉委員など約六十人が参加。大きな被害を出した台風十八号・十八号の相次ぐ上陸や、紀伊半島沖での地震（九月五日）の直後ということもあり、参加者の関心も高く、真剣なまなざしで災害時の行動の仕方などについて学びました。

講座は、愛知県名古屋市のNPO法人（特定非営利活動法人）「レスキューストックヤード」事務局長の浦野愛さんが講師を務め、「災害時における地域の役割と課題」と題して講演。最近起こった災害時でのボランティア活動の例をあげながら、地震や水害に対する「備え」の重要性や、避難所における高齢者や障害者のかたへの対応などについてわかりやすく解説されました。

また、午後からは、「災害に強い地域をつくるために、今から私たちができること」をテーマに、丹後大震災の発生を想定して七班にわかれグループワーク。もしもの災害においては、日ごろからの近隣とのふれあい、助け合いが重要であり、「災害に強い地域づくり」へ、協力していくことを誓い合いました。

### 弥栄病院長の交代について

弥栄病院では、10月1日付けで、新たに院長として、大西慧（さとし）医師をお迎えしました。大西医師は、昭和42年京都大学医学部卒業の医学博士で、乳腺、消化器外科が専門です。

また、退任される小屋光雄医師には、循環器内科を専門に、平成6年から診療に当たっていただき、平成11年からは院長としてご活躍いただきました。

なお、引き続き当分の間は、週2回、診察を担当していただきます。

### 巨大カボチャの祭典 パンプキンフェスティバル



ジャンボカボチャの重さを競う「パンプキンフェスティバル」が、九月十二日に常吉村営百貨店（大宮町上常吉）で盛大に開かれました。

この催しは、牛などの飼料として利用される「アトランティックジャイアント」という品種のカボチャの重さを競うもので、今回で十八回目。

今年も、猛暑の影響で、芽や根が腐ってしまい、出点数が少なかったものの、優勝はなんと一八〇・〇kg。（鈴木五郎さん・大宮町下常吉）

この日は、「うみやう屋台」として、新米のおにぎりやうどん、たこ焼きなどの屋台が軒を連ね、また「パンプキン種飛ばし大会」がにぎやかに催されるなど、秋とはいえ真夏を思わせる日差しの中、訪れた人の目と舌を十分に楽しませました。



### お世話になります

### シルバー人材センター 弥栄庁舎の清掃ボランティア



京丹後市の発足に伴い、「丹後中央広域シルバー人材センター」と「竹野郡広域シルバー人材センター」が合併し、十月一日から「京丹後市シルバー人材センター」として新たにスタートされます。

そこで、シルバー人材センターでは、九月四日に事務所として使われる弥栄庁舎周辺の清掃を行いました。午前八時三十分、弥栄町に在住の会員を中心に三十二人が集合し、せん定や草刈りなど、グループにわかれて作業を開始。参加した会員のみなさんは、日ごろの作業同様、手慣れたようすで会話を楽しみながら、約三時間にわたって汗を流しました。

竹野郡広域シルバー人材センターの田宮事務局長は「十月からお世話になります。シルバート人材センターの制度は、高齢者にとってもこれまでの経験を活かしながら、住民のみなさんにサービスを提供して喜ばれるとともに、自らの健康と生きがいづくりに役立つ素晴らしいシステムだと思っています。合併を機に、新たな気持ちでサービスの提供を図っていきます」ときれいな言葉で話されました。

### ご協力をお願いします

オウム真理教は、依然として松本被告の強い影響下にあり、再び無差別大量殺人行為に及ぶ危険性があり、平成15年1月の公安審査委員会による監察処分の期間更新決定で、改めて認定されました。

警察は、これまでに松本被告をはじめとする教団幹部や信者など500人以上を検挙しています。

公証人役場事務長ら致 監禁致死事件被疑者	地下鉄サリン事件被疑者	

しかし、警察庁指定特別指名手配被疑者3人は、依然として逃走中で、広く市民のみなさんに協力を呼びかけ、鋭意捜査を推進しています。

ハッ!とした、アレ!っと感じたら  
遠慮なくご連絡ください  
峰山警察署 (062-0110)  
網野警察署 (072-0110)  
久美浜警察署 (082-0110)

子どもたちの大きな歓声に包まれた  
「特捜戦隊デカレンジャー」ショー



また、恒例となった「丸太早切り大会」や、乾いた力二の甲羅を円盤のように飛ばす「間人がに甲羅投げ選手権大会」では、観客から盛んな声援が贈られるなど、過ぎゆく夏を笑顔いっぱい楽しみました。

夏休み最後の日曜日となった八月二十九日、丹後町の碓高原一帯で「いかり高原まつり」が開かれ、約八千人の親子連れなどが、自然や動物とのふれあいを存分に楽しみました。  
まつりは、同実行委員会の主催により、美しい自然あふれる碓高原の魅力をPRするとともに、活力とうるおいあるまちづくりを目指し、昭和六十一年から毎年開催しているもので、今年で十九回目を迎えました。



こん身の力を込めての  
「丸太早切り大会」

笑顔あふれる  
夏休み最後の日曜日  
いかり高原まつり

ヨーに、子どもたちが歓声をあげるとともに、丹後町出身の花満敏喜さんの「歌謡ショー」や、「二千人の大ビンゴ大会」など多彩な催しが次々と繰り広げられ、芝生の上で自然を満喫しながら、家族でのんびりとくつろぐ姿が見受けられました。

豊作を願い  
元気に奉納相撲

八朔（はっさく）祭り



なかなか勝敗が決まらな  
い白熱した取り組みに、  
境内が大きな声援で包ま  
れた「子ども奉納相撲」

う少し、が  
んばれ」と  
熱の入った  
大きな声援  
が贈られて  
いました。

秋の到来を告げる「八朔（はっさく）祭り」が、九月一日に丹後町平の科戸（しなと）神社で行われ、子ども相撲が奉納されました。  
八朔とは、旧暦の八月朔日（ついたち）のことで、昔からこの日（現在の九月一日）には各地で五穀豊穡などを祝う神事や行事が行われ、科戸神社では毎年、風水害の防止と豊作を祈願し、子どもたちによる相撲が奉納されています。  
この日、御神酒や果物が祭壇に供えられ、役員が玉ぐしを捧げるなどの祭礼を執り行った後、境内に設けられた直



径約四メートルの土俵に、保育所の子どもから小学生までの約十五人が集合。  
土俵の中央に置かれた松の枝を取り合う儀式の後、さっそく取り組みを開始しました。  
子どもたちは、東西にわかれ、「はっけよい、のこった」の合図で元気に熱戦を繰り広げ、観衆からは一番ことに「押せ、押せ」、「もう少し、がんばれ」と熱の入った大きな声援が贈られていました。

人口のうごき

男	31,766人
女	34,389人
計	66,155人
世帯数	21,912
(9月1日現在)	

発行/京丹後市役所 編集/秘書広報課  
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889  
☎0772-69-0001 FAX0772-69-0901  
ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>  
E-mail [hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp](mailto:hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp)